

山ローUK コンピュータープログラミング協会 会長 弘中 富士彦のご挨拶

はじめまして

2021年11月1日付けで山ローUK コンピュータープログラミング協会の会長に就任いたしました弘中 富士彦と申します。

前職は、日本航空でアビオニクス(航空電子)のエンジニアで航空機の電子機器・ブラックボックス・計器類の整備品整備やフライトシミュレーターの導入・運用・管理の仕事を約30年間、若い時には約5年間羽田空港でライン整備や機体整備を行っておりました。747(オールドジャンボ)JAL1号機は1970年4月に導入され、その翌年1971年10月1日747ジャンボ要員として入社。2010年5月末に日本航空退職、同年8月末に実家、山口市秋穂東にUターンしました。

弘中富士彦 経歴書概要

1952(S27)年7月2日 旧吉敷郡秋穂町で出生、以後10年間秋穂東大海地区に住む。

1962年4月～1971年9月末まで周南市(旧：徳山市に転居)で暮らす、10歳で鉱石ラジオ開始。

1967(昭和42)年に 中学二年生の春合格、中三でJA4FRJ アマチュア無線局開局。(ラジオ・無線少年)

1968年4月入学～1971年3月卒業 山口県桜ヶ丘高等学校電気計測科。(現：電気科)

1969年10月 電気工事士免許合格 1969年10月2アマ合格 1971年5月、海外無線局と交信開始。

山口県豊北技能専門学校 無線通信科 1971年4月入学～8月中退 9月電話級無線通信士合格。

1971年9月末 東京都大田区萩中に転居。(日本航空入社の為・京急大鳥居駅近くに住む)

1971年10月1日 日本航空(株)入社 整備本部整備訓練所配属。(羽田空港 JAL 機装ビル)

JAL 747 整備要員として採用される。(配属された整備訓練所 所長が山尾信一 子爵だった)

https://www.jal.com/ja/outline/history/aircraft/index_1971s.html

1972年3月末 神奈川県 逗子市 池子に転居。(葉山 JAL ヨット部に入部しセーリングを学ぶ)

1972年4月上旬 羽田空港 日本航空ライン整備工場配属。(運航整備及び中・重 整備担当)

1977年6月上旬 羽田空港 日本航空装備工場 航法電子課配備。

(慣性航法装置整備 Delco Carousel IV-A INS NAV Unit の整備品 Shop 整備開始)

この頃、コンピューター自己研鑽の為、Lkit-16 ボードコンピューター購入、研究開始。

1978年4月上旬 成田空港 日本航空装備工場 航法電子課異動。(成田空港へ展開の為)

(慣性航法装置整備 Delco Carousel IV-A INS NAV Unit の整備品 Shop 整備)

1979年頃から、国立公害研究所の光本茂記先生の研究に、東洋電子工業(株)の林 夕路 社長さんと協力、日本航空の担当者にアサインされた。

1980年 NEC PC8001 を自費で購入し、秋葉原のセミナーに通い自己研鑽を進めた。

1984年6月 JAL 成田地区の美術教室開始(JAL Artwins)の代表幹事として部を設立し20年間位運営。

篠崎 輝夫 先生（しのぎき てるお 1929年～2005年10月29日歿）洋画家 千葉県成田市生まれ・在住。光風会常務理事、日展評議員などを歴任された篠崎 先生に師事し洋画を学ぶ。

1985年9月 航空機による風速の測定 国立公害研究所 光本茂記氏・植田洋匡氏・山本一夫氏ら三先生の連名で、下記論文が発表された。（下記 URL の論文 50 頁下部「謝辞」に小生名の記載有り）

https://www.metsoc.jp/tenki/pdf/1985/1985_09_0497.pdf

1985年頃 NEC PC8001 を使って、INS Autotester の試作機を開発、ハード・ソフト共に自作。

1986年頃から1988年頃にかけて、INS Autotester の実用機を多摩川精機株式会社(飯田事業所)と共同開発を開始、こちらの開発担当者にアサインされる。(多摩川精機2名・JAL2名の内一名が小生)

DEC の PDP-11 を使う様に米国帰りの装備工場長が主張し、PDP-11 OS は RT-11 に決まる。

池袋の、日本DEC(株)に PDP-11 と OS RT-11 を学ぶため延べ2ヶ月位通い、プログラマーとSEとしての基礎を学ぶ。

1986年～87年 JAL ロボットコンセントに参加装備工場のトップにな、リーダーに専任される。

CARROT と云う、エレベーターに乗り降り出来る無人搬送車を設計・開発・製作、1987年春完成。

1989年5月～8月 英国 GATWICK の REDIFFUSION SIMULATION 社にシミュレーター訓練のため社費留学。（土曜か日曜日には、ロンドンの美術館を回り西洋美術を学ぶ）

1990年1月上旬 成田空港 装備工場内 日航アビオニクス出向

（初代シミュレーター課長就任、ゼロからシミュレーターの整備・運用要員の教育訓練を開始）

747-400 MTS, 747SR CPT の整備用シミュレーターの JAL 自社整備・運用を開始。

1993年3月 日本航空株式会社整備訓練部より 747-400 MTS, 747 CPT の整備を受託開始。

<http://jcft.co.jp/company/history.html>

1993年3月末 成田空港 日本航空 装備工場 電子航法課復帰

慣性航法装置整備 Delco Carousel IV-A INS 旧職場に復帰、工場内のデジタル教官としても勤務。

1999年8月末 成田空港 日本航空装備工場 計器課配備

JAL 整備のデジタル化達成のため、アナログ計器が多くある「計器課」でデジタル教官も兼務。

（エアデーター コンピューター、高度計、速度計等計器類や関連機器・装備品の Shop 整備）

2007年8月上旬 日本航空 品質保証部計量管理グループ配備（計測機器の計量管理業務）

2009年10月上旬 日本航空 整備本部付（株）JAL エンジニアリング出向（業務 同上）

2009年7月31日 2009年7月31日、747クラシックジャンボが最後のフライトを終える。

https://www.jal.co.jp/other/info2009_0918_03.html

2010年5月末 日本航空退職 同年8月末に成田市から実家、山口市秋穂東にUターン。

2013年11月21日～12月2日 瀬戸栄美子先生との2人展（洋画） 周南市パレット画廊にて

<http://emiko-seto.com/past-exhibition.htm>

2014年10月上旬 山口県登録電気業、富士丸屋 起業。

山口県知事登録第26125号(現 第2019118号)

2017年1月上旬 山口市秋穂で、ESD 静電気対策関連の事業を開始。

（2016年11月16日一般財団法人日本電子部品信頼性センター RCJ ESD コーディネーター取得）

1978(昭和42)年頃から、日本航空の静電気対策担当として、規約・規格・教育訓練の制定運用・社内教官等を担当してきた。JAL退職後はRCJ ESD コーディネーターの資格を習得し運用中。

2021年時点で、RCJ ESD コーディネーターの資格保有者は、山口県に4名しかいません。

公益財団法人やまぐち産業振興財団へ登録中。 <https://ymg-obbank.jp/>

[人材の詳細 | OB人材を探す | OB等人材バンク \(ymg-obbank.jp\)](https://ymg-obbank.jp/)

ISO9000 や JISQ9100 等の静電気対策や計量管理等の国際認証の技術支援や教育訓練を致します。

2021年 無線の国家試験を広島で受験し「第一級陸上特殊無線技士」プロ用の資格を習得

資格の概要はこちら→ <https://www.brainnet.co.jp/youseikatei1/license/>

8月13日に受験の電子申請、10月21日受験、11月8日 合格発表、免許証17日到着。

2021年11月1日 山ローUK コンピュータープログラミング協会設立 同会 会長に就任

現在に至る。

以 上